

|                |  |      |               |
|----------------|--|------|---------------|
| ふりがな           | はやし てつじ  |      | ※2019年4月21日現在 |
| 氏名             | 林 哲二   | 年齢   | 57歳           |
| 所属<br>(政党・会派等) | 市民クラブ  | 当選回数 | 3回            |
| 略歴             | 1961年6月21日生まれ ・泉大津市立東陽中学校卒<br>・浪速高等学校卒 ・京都外国語大学卒 ・立花証券(株)入社<br>・安田火災海上保険(株)へ転職 ・林総合保険事務所設立し独立<br>・H19年 泉大津市議会議員初当選<br>・H24年 総務常任委員会委員長<br>・H25年 泉大津市監査委員<br>・H25年～27年 南大阪振興促進議員連盟 幹事長<br>・H27年 泉大津市議会副議長 ・H30年 泉大津市議会議員長<br>・H30 大阪府南部市議会議員長会 会長 |      |               |

【設問1】 『青少年が夢を持って社会参画できるまち』について、お聞かせください。

※<第4次泉大津市総合計画 施策2>「学びあうひとづくり 彩あるまちづくり」関連

|   |
|---|
| (重要だと思うテーマ) ※30字以内  |
| 子どもの夢を親が壊さない事   |
| (自由記述欄) ※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下  |
| <p>子どもは様々な夢を描きます。夢を追いかけ、実現、失敗、変更と繰り返しますが、夢を語る段階で親が子の夢をつぶしてしまう事も多々あるように思われます。小さいうちは、笑って応援するような事もありますが、大きくなるにつれ、現実を考えろ！もっと勉強しろ！と頭ごなしに子どもの夢を壊してしまいがちです。平均的な成績を上げるのも大切かもしれませんが、子どもの優れた部分を伸ばし応援する事こそ必要と考えます。</p> |

【設問2】 『市民とともにつくる災害に強い安全なまち』について、お聞かせください。

※<施策4>「安心で心やすらぐまちづくり」関連

|  |
|--|
| (重要だと思うテーマ) ※30字以内   |
| 災害、防犯、いずれも地域の繋がり大事   |
| (自由記述欄) ※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下   |
| <p>阪神淡路大震災の時、倒壊した建物の下敷きになった人を救ったのは大半ご近所の人。又、地域の繋がりがしっかりしていれば、地域になじみのない怪しい人が来てもすぐわかる。それこそ防犯カメラも大切ですが、地域の人々の目、繋がりがこそが何よりの防犯、抑止力となり、災害時の助け合いに繋がる。そういった意味で、希薄化する社会において地域力強化がなにより大切な課題であると考えます。</p> |

【設問3】 『誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり』について、お聞かせください。

選択テーマ 1：子ども・子育て支援 2：地域福祉 3：高齢者福祉  
 4：障がい福祉 5：保健・医療

※＜施策3＞「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」関連

|   |
|---|
| (重要だと思ふテーマ) ※選択テーマからお選びいただきご記入ください。   |
| 1:子ども・子育て支援   |
| (自由記述欄) ※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下<br>将来の泉大津市を背負って立つのは間違いなく、今の子ども達です。そう考えた時に、真っ直ぐで素直な気持ちで、物事の善悪を判断し、リーダーシップを発揮して、人々の幸せを願って良い方向へ導ける人材の育成こそ、我々に課せられた重要な役割と捉えています。そのためにも、まず、泉大津市で若い子育て世代が住みたいと思える環境整備が大切であります。共働き世帯が主流となった今は保育所の環境整備が最優先と考えます。 |

【設問4】 『人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち』について、お聞かせください。

選択テーマ 1:地場産業の振興 2:湾岸ベイエリアの活用 3:ICT・AI化の推進  
4:その他

※＜施策6＞「誇れる・選ばれる・集えるまちづくり」関連

|  |
|--|
| 【重要だと思ふテーマ】 ※選択テーマからお選びいただきご記入ください。<br>その他の方は30字以下で記入  |
| ICT・AI化の推進   |
| (自由記述欄) ※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下<br>ICT, AIの普及により、例えばICTを活用して、インターネットを通じて離れた場所にいる高齢者の様子を確認する事が出来たり、学校の授業でタブレットを一人一人に導入する事で飛躍的に授業の効率はアップする。そんな中でも人間でないと出来ない部分はきちんと抑える必要がある。何でもすべて任せる事はない。人がやるべき事はしっかり押さえ、ICT, AIに任せられる事は任せる。とにかくバランスを考える。 |

【設問5】 あなたが重要だと思ふ泉大津市における施策テーマについて、お聞かせください。

(任意記載項目)

|  |
|--|
| (重要だと思ふテーマ) ※30字以内   |
| 明るく楽しい元気な街と、災害への備えと心構え   |
| (自由記述欄) ※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下<br>子どもから高齢者まで、気軽に幅広い年齢層が集える場所が必要。誰もが楽しいと感じられる同じ意識の共有が出来れば、何より明るく楽しく元気な街となる。たとえば、市民会館跡地で野菜、果物を共に育てる畑を！その横で直売所、新鮮野菜、スイーツの店を！更に、公園でヨガ、太極拳、ラジオ体操などを一緒に！<br>そして、普段からのご近所さんとの人間関係を深めておくことこそ、命にかかわる防災であると考えます。地域の繋がりを！ |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。